

平成 23 年度事業計画

新学習指導要領の全面実施を受けて、新【教材整備指針】が発表される予定です。JEMA は、【教材整備指針】の普及啓発は勿論ながら、JEMA・WEB 検索システム【教材 DB】、JEMA・安全基準等の普及啓発を一段と進展させることで、公益法人(特例民法法人)の一員としての自覚と責任をもって、教育環境整備に尽力し、我が国の教育の振興に寄与することを旨とする。

1. 教材整備の充実に向けての活動

- 1) 新【教材整備指針】の普及啓発活動
- 2) 【教材 DB】の充実と的確な情報発信
- 3) 教材備品の活用事例の提供
- 4) 新たな教材整備の為に【教材整備の手引き】発刊
- 5) 教材整備の措置率向上に関する活動

2. 教材備品等の品質向上に向けての活動

- 1) JEMA 安全基準の一層の普及啓発活動

3. JEMA 組織の強化

- 1) 都府県教材備品協会の活性化
- 2) 会員数の拡大と財政基盤強化

4. 災害復興事業支援

- 1) 東日本大震災による被災地・被災者への支援

5. 公益法人制度改革に対する取り組み

平成 23 年度委員会活動計画

委員会	活動テーマ	具体的活動
企画推進委員会	1. 公益法人制度改革に取り組み進路選択を行う 2. 会員増を図る	■進路を決定し、定款変更等申請準備作業を進める ■学術系会員の創設
普及啓発委員会	1. 教材整備の新指標及び協会と協会事業を全国的に普及させる為の活動 2. 会員増を図る	■新教材整備指針及び教材整備啓発カタログ等の啓発 ■製造会員の加入拡大を目指す
研究開発委員会 [安全部会]	1. JEMA 安全基準の更なる普及→製造会員の積極的取組促進 2. 安全マークの自治体・学校に対する啓発	■安全マークの啓発活動による安全安心教材備品の導入を促進
[教材部会]	1. 教材 DB サイトの充実（新指導要領対応） 2. [教材整備の手引き] 発刊と自治体への啓発活動 3. 教科研修会を開催し会員の理解増進に努める	■教材 DB の新学習指導要領対応を早期に完結 ■【教材整備指針】を含む【教材整備の手引き】発刊 ■年 5 回の研修会により会員の理解増進に努める
広報委員会	1. JEMA HP による迅速な情報公開 2. 教育業界協力による文教予算拡大の為の広報活動の展開 3. 機関誌・情報誌のタイミングの良い発行	■適宜・速やかな情報発信の仕組みを早期に構築する ■HP・教材 DB 等 WEB サイトの更新頻度を挙げ、早期の情報発信を連続させる